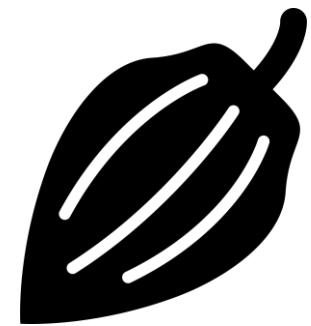


不二製油 サステナブル・オリジン 2023/2024 レポート



ハイライト

農家からの購入数量
(カカオ豆換算)



991MT

※不二製油(株)の購入数量

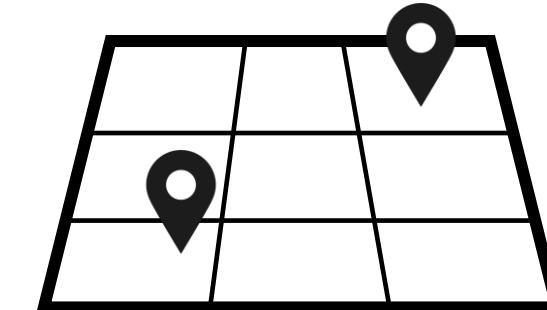
支援農家数



1,112農家

※内、25.4%が女性

農場のマッピング



98%完了

不二製油 サステナブル・オリジン
2023/2024レポート

農園活動報告

不二製油の「サステナブル・オリジン」は、不二製油独自の「カカオ豆購入による資金援助」を行う活動です。

基準を満たしたカカオ豆にプレミアム（支援金）をつけて購入することで、生産農家の課題を改善する活動を支援します。



SUSTAINABLE・ORIGINS

課題

- ・小規模農家
- ・所得が低い
- ・児童労働
- ・教育を受ける機会が乏しい
- ・農業技術不足
- ・森林を破壊した農地拡大

手段

- ・CLMRS※による児童労働の監視及び改善
- ・事業後継者への教育及び農業指導と支援
- ・女性の就業支援（収入改善研修）
- ・森林保全教育
- ・監視モニタリング
- ・日よけ樹林の提供

目標

**児童労働を
2030年までに撤廃**

生活環境の向上

森林破壊防止

※CLMRS (Child Labour Monitoring and Remediation System:児童労働監視改善システム)

不二製油 サステナブル・オリジン
2023/2024レポート

ガーナプログラムの活動内容と実績

1. トレーサビリティと内部調査

対象となる1,101農家が保有する農場のマッピングを年間を通して進めてまいりました。並行して内部調査も、農家の遵守状況の確認と評価だけではなく、さらなる指導の機会を提供するために実施されました。今期におけるこれら調査は、対象となる869名の農家が所有する1,815農場のうち、838名の農家に属する合計1,544農場で完了しました。



| 2023/24シーズン | 実績 |
|---------------|--------------|
| マッピングが完了した農園数 | 2,096農場 |
| 内部調査の実施 | 838名/1,544農場 |

2. 農家の生活水準の向上

農場改善計画 (FDP=Farm Development Plan) は、力カオの収穫量を増やし、農家の生活向上を実現するために欠かせない取り組みです。農場管理や拡張において責任ある選択を行うためにも、この計画は重要です。農園の状況に応じて、力カオ樹の植え替え、接ぎ木、土壌改良の追加など、さまざまな農業指導を実施しています。今期は、981名の農家（うち女性249名）が128回の農業指導セッションを受講しました。指導内容は、GAP (Good Agricultural Practices)、GEP (Good Environmental Practices)、GSP (Good Social Practices)、GBP (Good Business Practices) で構成されています。



| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|-------------|---------|---------|
| 支援対象農家の状況調査 | 264農家 | 297農家 |
| 苗の提供 | 33,000本 | 41,250本 |

3. 農業事業支援

異なるコミュニティに設置されたGAP研修所での試験により、適切な割合での肥料や有機堆肥の使用、除草や選定を実施することでより効率的な収穫方法を模索しています。

農業についての知識の定着を確認するために習熟試験を実施しております。今期においては873名の農家がこの試験を受け合格率は82%（712名が合格）という結果でした。

これらの結果は農業知識の高まりを示すものです。一方で不合格となってしまった方への指導も別途実施されています。



| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|-----------------|------|------|
| 試験農場での実証実験結果の収集 | 7農場 | 7農場 |
| 次世代へ農場経営についての研修 | 4事業家 | 4事業家 |

4. 児童労働モニタリングと改善システムの導入

児童労働への対応として、私たちは世帯毎にリスク評価を行い、データ収集を通じて状況を把握します。収集したデータを分析し、さまざまな形態の児童労働を特定します。その結果に基づき、子どもたちが学校に戻り、積極的に学校活動に参加できるよう支援するための支援計画を策定します。目的は、子どもたちの幸福と成長を支え、より良い生活のための手段と機会を提供することです。



モニタリング数

| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|------------------------------|---------|---------|
| 児童労働モニタリングシステムによる児童労働の監視及び改善 | 1,101農家 | 1,073農家 |

②2023/24シーズンにて把握された児童労働の実態

| | |
|------------|-------|
| 危険労働※1に従事 | 38ケース |
| 軽度の労働※2に従事 | 77ケース |

※ 1 器具を使用する草刈り・剪定、鎌を使った収穫、木を切り倒す、重量物の運搬

※ 2 草刈り、剪定後に実・ポッドなどを集める、薪集め、大人がポッドを割った後の実の取り出し

学校への入学支援、教材の提供、出生証明書登録支援、子どもの権利教育などを実施しています。

※昨シーズン（2022/23シーズン）に把握されたケースへの改善

昨シーズンに確認されたケースの多くに対して改善策を実施しました。特に危険労働の改善を目的として実施された具体的な改善施策としては下記の通りです。

- ・教材や学習資材の配布 101件
- ・学校への入学手続き支援 3件
- ・出生証明書や健康保険への登録 61件
- ・子どもの権利や、子育て方法、教育の重要性などについて両親への個別指導 75件
- ・コミュニティ内の児童労働や教育の重要性についての講義の実施 10件

5. 農家生活所得の向上

力カオ収穫の少ない時期において安定した収入源を持つことも重要です。

Pepesa地域において160名の農家（80名が男性、80名が女性）が参画する5つのVSLAグループによりパン工房が設立しました。これらは9月末までには建設が完了し必要な器具・設備が準備されました。メンバーにもパン作りの研修が行われました。

これらパン工房では週間200斤のパンが製造可能で、この収益は600ガーナセディ程度と期待されます。



| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|-------------|-------|--------------------|
| 新たなVSLAの設置 | 3グループ | 4グループ [°] |

6. 森林破壊防止活動

森林再生を目的とし地域森林委員会とともに保全教育・アセスメントなどに取り組んでいます。



| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|-------------------|---------|----------------|
| 地図化・森林保全教育 | 1,101農家 | 1,078農家 |
| 森林破壊アセスメントとモニタリング | 845農家 | 825農家 |
| 日よけ樹木の配布 | 3,300本 | 3,300本 |

7. プログラムへの参加農家数と購入数量

| 2023/24シーズン | 目標 | 実績 |
|-------------------|---------|----------------|
| 場所：ガーナ西部地域：Tarkwa | 1,101農家 | 1,112農家 |
| 生産数量 | 990トン | 991トン |



8. プレミアムについて

2023/2024年度

3,218万円

※その時期の為替レートに基づき、
日本円に換算しております

| 取り組み項目 | カカオ豆あたり (%) |
|------------------------|-------------|
| 証明書の発行 | 7 |
| 児童労働への取り組み | 9 |
| 地域活性化への取り組み | 5 |
| 農家への事業支援 | 8 |
| 管理費（産地での活動・指導員人件費及び経費） | 24 |
| モニタリングと評価 | 1 |
| 森林破壊の防止と再生への取り組み | 4 |
| トレーサビリティ導入への取り組み | 9 |
| 農家へのプレミアム還元 | 33 |
| | 100 |

サステナブル・オリジンは、児童労働の撤廃、農家の生活環境の向上、森林破壊の防止という三つの目標に基づき、各分野での取り組みを継続的に実施しており、プログラムとして一定の定着が見られます。

児童労働の撤廃に向けては、支援対象の1,112農家のうち1,073農家（約97%）を対象に、児童労働監視改善システム（CLMRS）によるモニタリングが実施され、危険労働および軽度労働の報告件数は前年度から減少しています。支援農家数の変動の影響には留意が必要であるものの、昨年度に把握されたケースへの対応が継続的に実施されている点から、対応体制の成熟がうかがえます。一方で、特定されたケースに対する対応件数や解決状況、特に危険労働への迅速な対応状況については、今後より詳細な情報開示が望れます。

農家の生活環境の向上に向けては、農場改善計画（FDP）を通じた生産性向上支援が継続され、生産性向上に向けた取り組みが進められています。また、VSLA（農家やコミュニティメンバーによる貯蓄・融資の仕組み）を通じた生計向上支援の枠組みが導入され、農業収入以外の収入源の確保に向けた取り組みが試行されています。パン工房の設立準備はその一例であり、これらの取り組みは本年度は準備段階にあることから、今後は運営状況や収益性を含めた検証が求められます。

森林破壊の防止については、農園位置のマッピングや森林保全に関する啓発活動、モニタリング、シェードツリーの配布といった取り組みが進められており、トレーサビリティの確保や森林破壊リスクの把握に向けた基盤は整いつつあります。また、不二製油(株)では、アグロフォレストリーを含む森林保全に関する取り組みも進められていますが、本レポートでは、その全体像やサステナブル・オリジンの目標との関係性についての説明は限定的です。今後は、これらの取り組みについて、位置づけや進捗、期待される効果がより分かりやすく整理されることが望れます。

以上のように、サステナブル・オリジン・プログラムは、三つの目標に基づく活動を継続的に実施し、一定の定着が見られる段階にあります。今後は、児童労働削減率や所得変化などの成果指標を継続的に把握するとともに、各分野の取り組みが目標の達成にどの程度寄与しているのかを、より明確に示していくことが期待されます。

（特定非営利活動法人ACE）